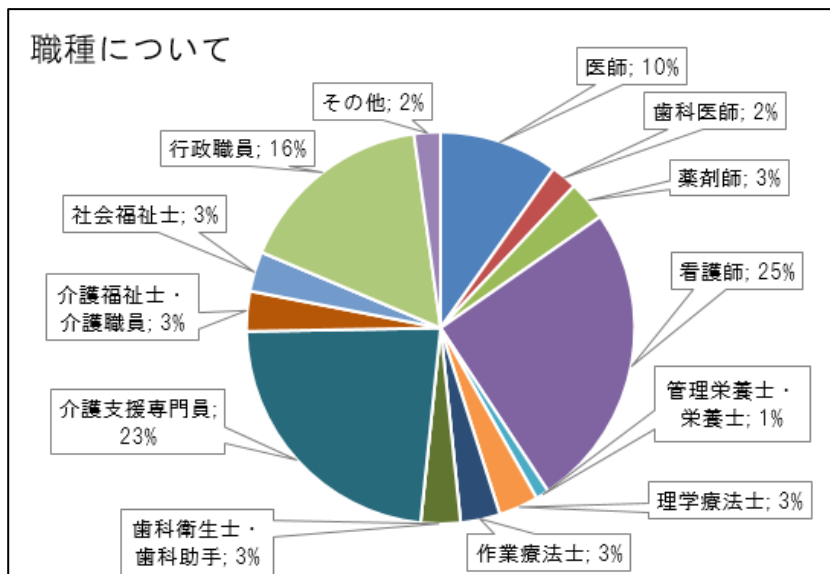


# 令和元年度 いなべ在宅医療・介護連携研修会 アンケート(R1.11.16)

## アンケート回収 79名

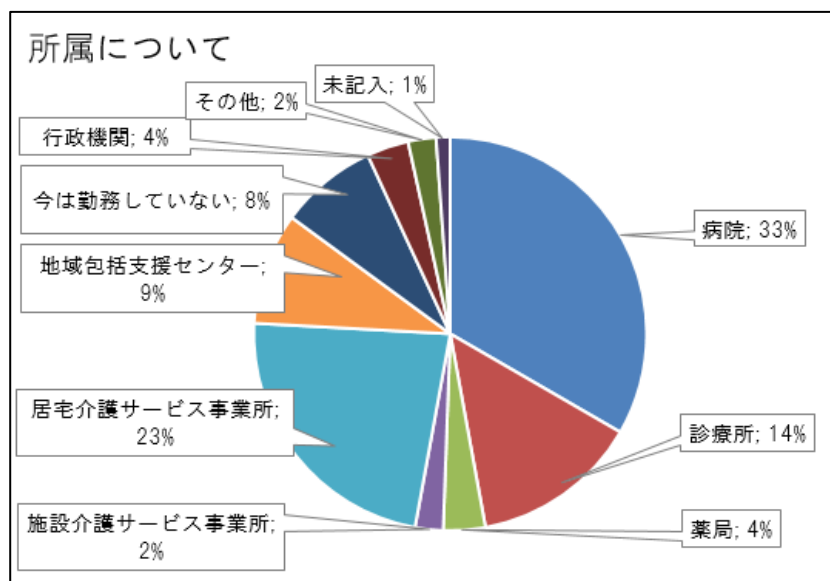
### 問1 職種についてお聞かせください。

医師	9
歯科医師	2
薬剤師	3
看護師	23
管理栄養士・栄養士	1
理学療法士	3
作業療法士	3
言語聴覚士	0
歯科衛生士・歯科助手	3
MSW・PSW	0
介護支援専門員	21
介護福祉士・介護職員	3
社会福祉士	3
事務職員	0
行政職員	15
その他	2



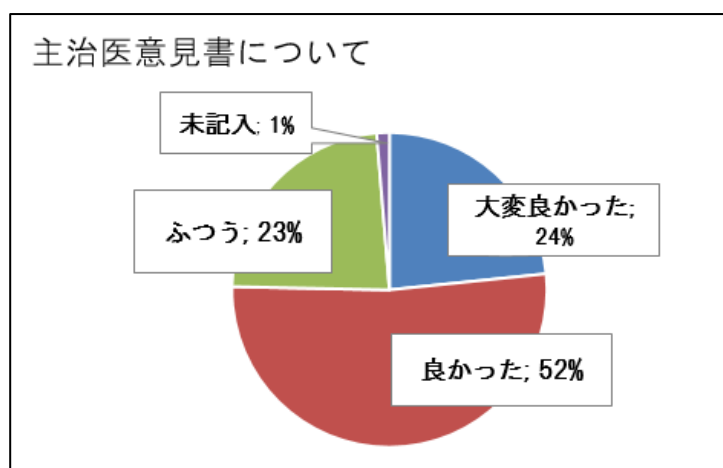
### 問2 所属をお聞かせください。

病院	29
診療所	12
薬局	3
施設介護サービス事業所	2
居宅介護サービス事業所	20
地域包括支援センター	8
今は勤務していない	7
行政機関	3
その他	2
未記入	1



### 問3 介護認定審査会・主治医意見書に関する説明はいかがでしたか？

大変良かった	18
良かった	40
ふつう	18
未記入	1

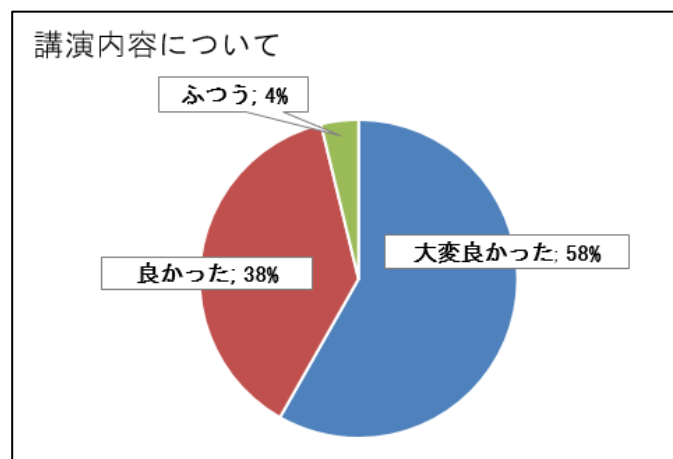


### その理由として・・・

- ・サービス事業所に就職してまだ日がたっていないため内容がわかりません。すいません。
- ・審査会の流れが良くわかった。
- ・声も聞きやすく、丁寧に説明していただき、わかりやすかったです。
- ・介護認定のしくみが少し理解できた。
- ・医師に記入してもらうときの注意点がよく理解できた。
- ・審査会や意見書の事がわかった。あたり前のことだが再確認できた。
- ・一般的な流れの説明で、一歩踏み込んでほしい。
- ・特にありません。
- ・意見書を参考にする際の見方が理解できました。
- ・特に新しく知ったということがほぼなかった。
- ・1つ1つの場面において説明していただき、わかりやすかった。
- ・視点として必要な事項を理解できた。
- ・レジュメがわかりやすかったこと、説明が端的明瞭だった。
- ・わかりやすかったです。
- ・わかりやすい説明でした。
- ・聞きやすかったし、病名(診断名)が介護に及ぼす順番や、簡単に申請できると思っていましたが、2週間以上かかるなど勉強できました。特定疾患も事故による脳疾患などは特定疾患にならないことを教えていただきました。確定申告で近所の方がおむつ代の申請をしていましたが、初年度は医療機関に申請することなど初めて聞きました。
- ・資料が大きな文字でわかりやすい。
- ・介護認定の流れが改めてよくわかりました。
- ・認定調査の際、看護師として正確な情報を細かく伝える必要性を理解できました。
- ・主治医意見書記載の重要性がよく理解できました。今後、主治医記載後、審査会で求められる欄の記入漏れがないか確認していきたいと思います。
- ・主治医意見書の特記事項に関して今まで意識していなかったため、重要性が改めて理解できたため。
- ・主治医意見書に何も特記がなかったことが多いので、説明を聞いてどこに着目したらよいかわかりました。

### 問4 講義内容はいかがでしたか？

大変良かった	46
良かった	30
ふつう	3



## その理由として・・・

- ・新城先生の話が聞きたくて来ました。現在は在宅専門の医師がいて本人へのがん告知も当たり前になり、訪問診療も受け、私も主人を在宅で看取りました。半年間、私なりの看護もでき、先生の話聞き、これで良かったなと痛感しました。
- ・先生が悩みながら葛藤される面がとても参考になりました。
- ・とても楽しみにしていました。先生のこれまでの壁、その壁を乗り越えるに至った考え方を聞かせていただくことで、人生の終わり方、死との向き合い方・・・生き方を考える機会と成りました。
- ・先生の若い頃の治療と一緒にさせていただいたので、昔と今の治療、先生の考え方が良くわかりました。
- ・医療・看護の話だけにとどまらず、その人らしく生きる意味、生きがいとは何かという所について深く知る事ができた。
- ・昔の話が多く、私の聞きたかったこれからの話が少なかった。
- ・患者を人としてみてくれる先生が居るんだなあと思いました。
- ・医師からの話としてではなく、「人間力」(自分自身も含めて)についてのヒント、また自分自身に向けて問いかけたい気づきをいただきました。
- ・病人の心の動きや病人と医療人との向き合いなど、今までの概念を変えた内容であり、とても考えさせられた。
- ・特にありません
- ・在宅で医師が抱えている気持ちがわかった。
- ・人生においていくつもの壁がありますが、その都度本との出会いがあったと聞きました。悩み苦しむのが人間、待っていてもやってこないの、自分から行動することが大事だと感じた。
- ・利用者1人ひとりと向き合っていることがわかりました。・医師の立場での思いが知れました。
- ・聞きやすい内容でよかったです。
- ・患者様との向き合い方は本当に難しいと思いますが、今回の医師の講演を参考に、対応の仕方を見直したいと思いました。
- ・在宅医療の現状が良くわかりました。
- ・介護職ですが、日々向き合っている人との向き合い方を改めて考えようと思いました。こんなにいろいろ考えてみえる先生のお話すごく興味深かったです。私も昔「病院で死ぬということ」を読みました。小川糸さん好きです。「急に具合は悪くなった」読んでみます。
- ・実際の症例等があり、わかりやすかった。現状、外科で勤務しており、ターミナルの患者さんと向き合うことでいろいろ悩むこともあります。少しは患者との接し方、向き合う方法がわかりました。少しずつ現場で活かせたらと思いました。
- ・医療者としての迷い、葛藤など生の声を聞いて興味深かった。
- ・ACPが声高に言われているが、それはそれで「選り疲れ」という患者の苦痛となりうるということも認識できた。選択してもらっているつもりが、こちらの意志を無意識に植えつけられたものであってはいけない。
- ・今回のような講演は初めてでした。医師の生き方、診療の仕方に納得させられることが多かった。
- ・病院勤務しています。日々感じながらも目をつぶっていた様な気持ちを改めて考えさせられました。先生の話はとても聞きやすく面白くて、私自身の医療・介護を見つめ直そうと思いました。
- ・本を引き出してお話されていたのも、とても身近に感じました。
- ・経験などお話いただいて参考になりました。
- ・職種は違えど普段同じような壁にぶつかることもあり、考え方や医療現場での実態など知る事ができてよかったですと思います。知らずに利用者様に接しているのと知っているのとは違うと思いました。

- ・緩和ケア、病院治療での立場から話が聞けてよかった。
- ・患者さんについて理解が深まった。自宅で人と関わりながら生活することの意義が見えた気がします。大変素晴らしい講演を伺えました。
- ・ホスピスの現場に長年携わった方の実体験が聞けて参考になったし、医療者として患者様に接する際のいろんな考え方が聞けてよかった。
- ・お医者様もいろいろなことを思い、感じてみえるんだと思いました。医者としての「思い」を強く感じました。
- ・先生の医療のお話でしたが、介護の仕事に関わっている私は介護者として利用者に向き合う自分に置き換えて聞かせていただきました。なごみの家で共同生活ができるというのが、独居高齢者をケアしているのにとっても希望を感じました。
- ・以前の研究会で新城先生をリクエストしました。実現したことに大変感謝しています。新城先生とは平成10年に実父がお世話になりました。当時どのように考えて治療に取り組まれていたかが良くわかりました。
- ・壁にぶつかりながらも自問自答し、いろいろな情報を得つつ前に進まれているお話を聞いて、自分も壁にぶつかりながら悩みつつ前に進んでいけたらと思いました。
- ・病院で勤務していますが、地域と連携していく重要性を常々思っています。今回の講演を聴講させていただき、つなげていく必要性を学びましたし、リスク管理ばかりで縛りがあることについて、私も嫌気がさしています。何かと良い方向に行ける様な医療になるよう願っています。同じ思いの方がいて自分の考えに間違いはなかったと安心しました。
- ・先生が緩和ケアに携わられることになった経緯をお話していただきながら、目の前の患者さんと真摯に向き合われてこられた思いを熱く学ばせていただきました。
- ・ホスピスの現場実態がわかる。
- ・考え方が変わった。
- ・一生涯に一度の死にお風呂に入る約束をしていたが入れてあげられなかった。リスクマネジメントで、次に同じ条件ならこれからも同じようにするか?とよく聞かれるが、平等という面では、皆同じようにしなければならない。この中に患者様と築き上げている信頼や思いには添い遂げれていないと感じます。自分や自分の家族ならお風呂に入れてあげることがBestの選択だと思います。事故などのリスクを考えると責任問題が出てくると思います。
- ・病院とホスピスでは違いがありすぎる。病院は治療目的で、ホスピスは治療しない(心のケア)。でも納得させられる。
- ・在宅へつれて帰りたい家族の気持ちは充分あっても、自分たちの生活を考えると勇気がいる。社会資源を使えばいいと充分思うけど、先が長いのか短いのか見えない中での選択に悩みます。自分が居ない間に1人で亡くなってしまうのも・・・と考えてしまいます。
- ・これから在宅医療(訪問医)が増えていくといいのですが。先生のような心温かい医師に立ち上げてもらいたいです。いなべは数が少なすぎて競争にならない。
- ・緩和ケアの考え方について知れてよかったです。患者様1人ひとりの個別性の大切さがわかりました。
- ・先生の日々の様子が知れ、うれしかったです。
- ・先生の体験談などいろいろ聞かせてもらい、今後患者さんと関わっていく中で活かしていきたいと思えます。本の紹介もいろいろしていただき、ぜひ読んでみたいと思いました。
- ・新城先生の本を読んでみたいと思えます。日頃、死期の近づいている患者様の医療について疑問を持ってケアをしています。こんなに治療が必要なのかと。病院に入院している以上、何かをしないといけないのでしょうか…。ルートだらけで本当にかわいそうです。過剰と思われる輸液で全身浮腫とてもかわいそうな姿になってしまう患者様がいます。辞めていただきたいです。
- ・自分も壁にぶつかり考え込んでしまうことがあるので、この講演を聞いて考えが少し広がった。

**問5 本研修会へのご意見・ご要望等お聞かせください。**

- ・DVについて(特に精神的なDVについて)、よく怒っている夫とDV(精神的)夫の境界線を知りたいです。少しでも気になった場合、どのように対応すれば良いのか。妻が何もしなくても良いといった場合、本当に何もしなくても良いのか。
- ・企画、運営お世話様でした。ありがとうございました。
- ・たくさん学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・患者又は患者家族から見て、介護、福祉行政への意見を聞きたい。
- ・とても勉強になりました。診察についていて、記入する医師を見していますが、こういう流れで介護認定が行われているんだと思いました。
- ・目標の立て方。必要なサービスなど話し合えたら。
- ・リハ職であるため CM やデイサービス職員などがリハビリに何を求めているのか、具体的に教えていただきたいので、リハビリに求めていることは何か研修会を通して教えてもらえるとすごく助かります。